



HTML5のセキュリティ もうちょい詳しく

HTML5セキュリティ その3 : JavaScript API

Jun 6 2014

Yosuke HASEGAWA

 [#owaspkansai](https://twitter.com/owaspkansai)

自己紹介

はせがわようすけ

- ❖ ネットエージェント株式会社
- ❖ 株式会社セキュアスカイ・テクノロジー 技術顧問
- ❖ <http://utf-8.jp/>
- ❖ OWASP Kansai Chapter Leader
- ❖ OWASP Japan Chapter Advisory Board member

@hasegawayosuke

HTML5時代のWebアプリ

❖ 次々とリリースされるブラウザ

❖ 多数の新しい要素と属性

❖ canvas, video, audio, input...

❖ 多数の新しいAPI

❖ Web Sockets, Web Storage, XHR Lv.2...

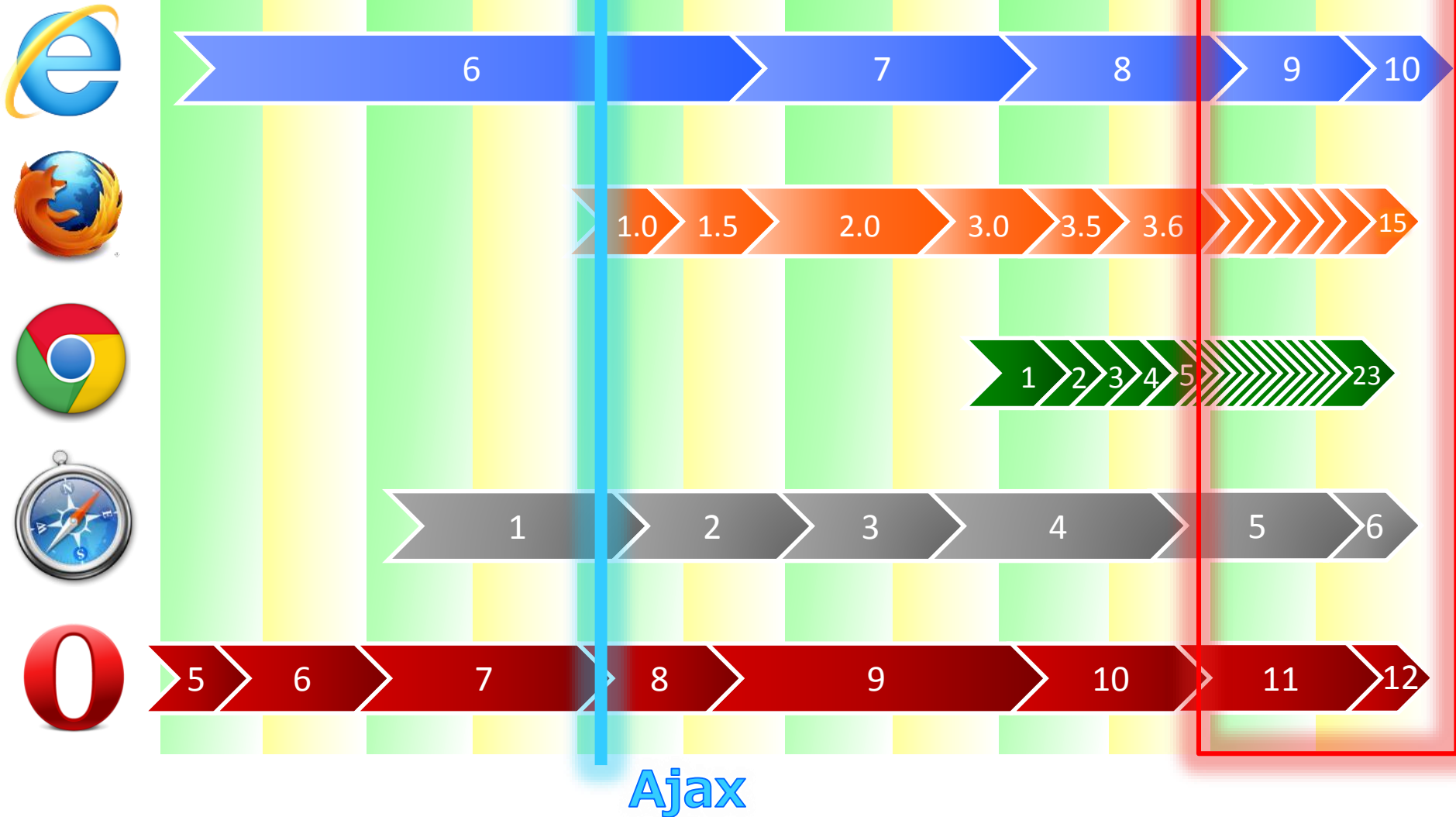
❖ 最適化されたJavaScriptエンジン

❖ 高速化された描画エンジン

❖ どのブラウザにどの機能が実装されているのか把握できない



次々リリースされるブラウザ



HTML5の新機能

- ❖ **マルチメディアのサポート**
`<video>` `<audio>` `<canvas>`...
- ❖ **文書構造を表す要素**
`<section>` `<header>` `<footer>` ...
- ❖ **フォームの拡張**
`<input type="email">` ...
- ❖ **JavaScript API**
Web Workers, WebSocket, File...
- ❖ **その他...**

HTML5時代のWebアプリ

- ❖ HTML5時代のブラウザ
 - ❖ 高速化、高機能化
- ❖ 実行コードのブラウザ上へのシフト
 - ❖ ネイティブアプリからWebアプリへ
 - ❖ サーバ側で実行されていた処理がブラウザのJavaScript上へ
- ❖ 攻撃もクライアントサイドへシフト
 - ❖ JavaScript上の問題点の増加
 - ❖ XSSやCSRFなどの比重が増加



Webの技術 楽しいですね！



クロスサイトスクリプティング

強制ブラウズ

書式文字列攻撃

リモートファイルインクルード

SQLインジェクション

LDAPインジェクション

パストラバーサル

バッファオーバーフロー

CSRF

セッションハイジャック

Webの技術 楽しいですね！

OSコマンドインジェクション

セッション固定攻撃

オープンリダイレクタ

DoS

HTTPレスポンス分割

メモリリーク

XPathインジェクション

HTTPヘッダインジェクション

HTML5を使った攻撃

- ❖ **攻撃側こそ新しいWebの技術をもっとも活用できる**
 - ❖ **クロスブラウザ対応不要！**
 - ❖ **誰に遠慮することもなく使いたい技術を選んで使える！**
 - ❖ **多少不安定な技術でもかまわない！**

HTML5で増加する脅威

- ❖ 攻撃もクライアントサイドへシフト
- ❖ JavaScriptを通じた攻撃の比重が増加
- ❖ XSSのリスクも増加

“

多くの点から見て、XSS 脆弱性の危険性はバッファ オーバーフローに匹敵します。

”

セキュリティに関するブリーフィング : Web に対する SDL の適用
<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/magazine/cc794277.aspx>

HTML5で増加する脅威

❖ XSS

- ❖ HTML5の新要素によるXSS
- ❖ JSコード量の増加 – DOM Based XSS
- ❖ AjaxデータによるXSS

❖ CSRF

- ❖ XMLHttpRequestで攻撃者有利

❖ オープンリダイレクタ

- ❖ JavaScriptによるリダイレクトの増加

❖ その他

- ❖ Ajaxデータからの情報漏えい
- ❖ APIの使い方の問題
 - ❖ WebSocket、Web Storage、Web Workers...



今日のはなし

❖ JavaScript API使用上の注意点

- ❖ WebSocket

- ❖ Web Storage

- ❖ Web Workers

WebSocket

❖ JavaScriptにおける双方向通信機能

```
var ws = new WebSocket( "ws://example.jp/" );
ws.onopen = function( evt ){
    console.log( "connected" );
};
ws.onmessage = function( evt ){
    console.log( "received:" + evt.data );
};

ws.send( "hello" );
```

WebSocket

- ❖ 重要な情報はTLS(wss://)を使うこと
 - ❖ httpに対するhttpsと同様

```
// no TLS
```

```
var ws = new WebSocket( "ws://example.jp/" );
```

```
// over TLS
```

```
var ws = new WebSocket( "wss://example.jp/" );
```

- ❖ Cookieはhttp/httpsと共有される
 - ❖ http://example.jp/で発行されたCookieは
 - ❖ https://example.jp/
 - ❖ ws://example.jp:8080/websocket
 - ❖ wss://example.jp:8081/websocketなどで共有される
(secure属性がない場合)

❖ Cookieはhttp/httpsと共有される

```
GET /index.html HTTP/1.1
Host: example.jp
Connection: Keep-Alive

HTTP/1.1 200 OK
Date: Tue, 1 Jan 2013 09:00:00 GMT
Content-Length: 2524
Content-Type: text/html; charset=UTF-8
Set-Cookie: session=12AFE9BD34E5A202
....
```

```
GET /websocket HTTP/1.1
Upgrade: websocket
Connection: Upgrade
Host: example.jp
Origin: http://example.jp
Sec-WebSocket-Key: mU60Bz5GKwUgZqbj20tWfQ==
Sec-WebSocket-Version: 13
Sec-WebSocket-Protocol: chat, superchat
Cookie: session=12AFE9BD34E5A202
```

```
HTTP/1.1 101 Switching Protocols
Upgrade: WebSocket
Connection: Upgrade
Sec-WebSocket-Accept: IsCRPjZ0Vshy2opkK0sG2UF74eA=
Sec-WebSocket-Protocol: chat
....
```

❖ **secure属性付きのCookieはhttpsとwss
で共有される**

❖ **https://example.jp/index.html**

❖ **wss://example.jp:8081/websocket**

Web Storage

Web Storage

- ❖ JavaScriptでデータを保存する機構
 - ❖ Cookieより大容量
 - ❖ Cookieと違って自動送信されない
 - ❖ JavaScript上で明示的な読み書きが必要

```
sessionStorage.setItem( "foo", "abcdefg" );  
var value = sessionStorage.getItem( "foo" );
```

- ❖ localStorage - 永続的に保持
- ❖ sessionStorage - セッション間だけ保持

Web Storage

❖ localStorage

- ❖ 明示的に削除しない限りデータを保持
- ❖ 原則、オリジン単位でデータを保持
- ❖ IE8ではhttpとhttpsで共有される
- ❖ Safariではプライベートブラウズ時に読み書きできない

```
sessionStorage.setItem( "foo", "data" ); // 例外発生  
alert( sessionStorage.getItem( "foo" ) );
```

Web Storage

❖ sessionStorage

- ❖ ブラウザが開かれている間データを保持
- ❖ 新しいタブでは異なるセッション
- ❖ 同一オリジンのiframe、frameではセッションを共有(IE8,9を除く)
- ❖ IE8ではhttpとhttpsで共有される

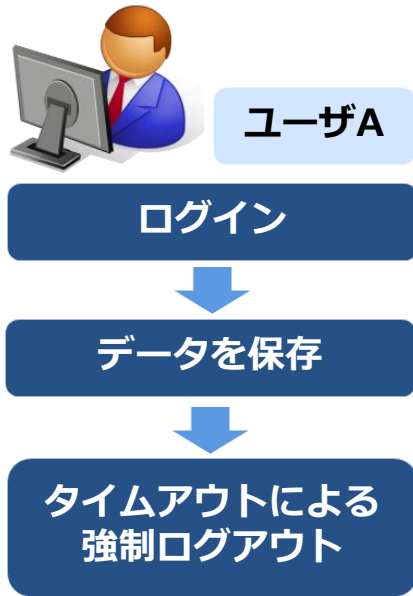
Web Storage

- ❖ **Cookieと違い、常にJavaScriptから読み書き可能**
 - ❖ **Cookie – httponlyによってJSからアクセス不可**
 - ❖ **XSSが発生したときに盗み見を防ぐことができない**
 - ❖ **パスワードや生年月日などの重要情報をWeb Storageに保存しないこと**

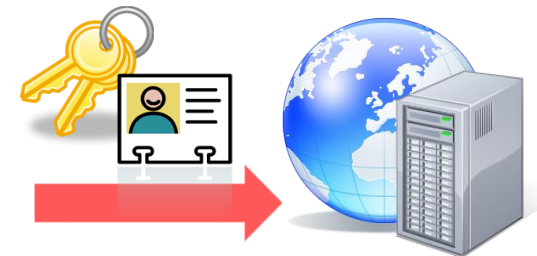
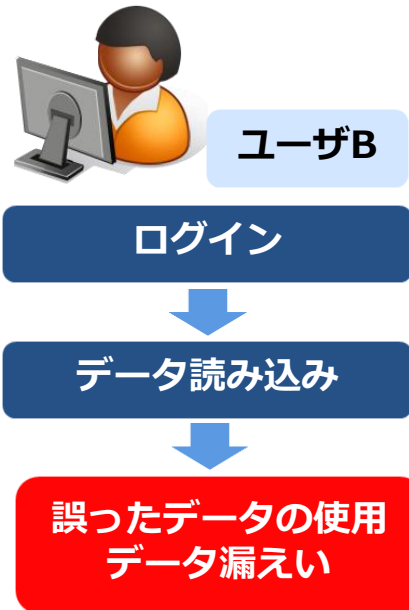
Web Storage

- ❖ Webアプリケーションの「セッション」と異なるデータ保持期間
 - ❖ Webアプリケーション: セッション = ログインからログアウトまで
 - ❖ sessionStorage – (原則)タブを閉じるまで
 - ❖ localStorage – 無期限
- ❖ ログインしたユーザーに紐づくデータの保存期間に注意

Web Storage



他のユーザとデータが混在する可能性



Web Storage

❖ 対策

❖ ユーザIDと合わせて保存する

```
sessionStorage.setItem( userid + "-foo", "data" );
```

- ❖ 未ログインでのページロード時やログイン処理時、ログアウト処理時にstorage内のデータを削除する
(ログアウト処理は確実に走るとは限らない)

Web Workers

Web Workers

❖ JavaScriptによるバックグラウンド処理 機構

❖ 多量の計算などの重い処理をUIをブロックせず実行

```
var worker = new Worker( "background-task.js" );  
worker.onmessage = function( event ){  
    alert( "completed:" + event.data );  
};
```

```
// background-task.js  
for( var i = 0, sum = 0; i < 1000; i++ ){  
    sum += i;  
}  
postMessage( sum );
```

Web Workers

❖ 外部からのコードが実行されないよう注意

```
// 脆弱なコード
// http://example.jp/#data:text/javascript,onmessage=...
var src = location.hash.substring(1);
var worker = new Worker( src );
```

- ❖ 攻撃者が用意したスクリプトがWorkerとして実行される
- ❖ ただしDOM操作できないので脅威は低い

Web Workers

❖ importScriptsも同様

```
//脆弱なコード。importScriptsに任意のURIがわたる
var src = location.hash.substring(1);
var worker = new Worker( 'worker.js' );
worker.postMessage( src );
```

```
// worker.js
onmessage = function( evt ){
    if( evt.data ) importScripts( evt.data );
}
```

まとめ

Conclusion

まとめ

❖ WebSocket

- ❖ 重要情報はTLSで保護されたwss:スキームで
- ❖ Cookieの共有に注意

❖ Web Storage

- ❖ 重要情報は保存しない
- ❖ 複数ユーザの意図しないデータ共有に注意

❖ Web Workers

- ❖ 外部由来のコードをworker srcとして使用しない

参考文献

HTML5 調査報告 from JPCERT/CC

← → ↻

JPCERT/CC[®]


Japan Computer Emergency Response Team Coordination Center

JPCERT コーディネーションセンター

安全・安心なIT社会のための、国

▶ お問い合わせ

検索

最新情報を取得 (RSS | )

Home > 公開資料 > 研究・調査レポート > HTML5 を利用したWeb アプリケーションのセキュリティ問題に関する調査報告書

🏠 トップページ

情報提供

- ・ 注意喚起
- ・ 早期警戒
- ・ 脆弱性対策情報
- ・ Weekly Report
- ・ インターネット 定点観測

📁 インシデントの報告

📁 各種登録

📁 制御システムセキュリティ

📁 ラーニング

📁 公開資料

📁 イベント

📁 プレスリリース

📁 JPCERT/CC

HTML5 を利用したWeb アプリケーションのセキュリティ問題に関する調査報告書

最終更新: 2013-10-30

 ツイート

 メール

HTML5 は、WHATWG および W3C が HTML4 に代わる次世代の HTML として策定を進めている仕様であり、HTML5 およびその周辺技術の利用により、Web サイト閲覧者 (以下、ユーザ) のブラウザ内でのデータ格納、クライアントとサーバ間での双方向通信、位置情報の取得など、従来の HTML4 よりも柔軟かつ利便性の高い Web サイトの構築が可能となっています。利便性が向上する一方で、それらの新技術が攻撃者に悪用された際にユーザが受ける影響に関して、十分に検証や周知がされているとは言えず、セキュリティ対策がされないまま普及が進むことが危惧されています。

JPCERT/CCでは、HTML5 を利用した安全な Web アプリケーション開発のための技術書やガイドラインのベースとなる体系的な資料の提供を目的として、懸念されるセキュリティ問題を抽出した上で検討を加え、それらの問題に対して可能な限り検証を行ったうえで、それらの調査結果をまとめました。

なお、本調査については、作業の一部をネットエージェント株式会社に委託して実施しました。

❖ <http://utf-8.jp/>

❖ HTML5セキュリティ その1: 基礎編、XSS編

<http://utf-8.jp/public/20130613/owasp.pptx>

❖ HTML5セキュリティ その2: オープンリダイレクト、CSRF

<http://utf-8.jp/public/20131114/owasp.pptx>

質問タイム

Question ?

Question? 質問



hasegawa@utf-8.jp

hasegawa@netagent.co.jp



@hasegawayosuke



http://utf-8.jp/

@hasegawayosuke